

札幌市市営住宅入居予定者アンケート調査
報告書

平成 22 年 2 月

札幌市

1. 調査の目的

市営住宅入居予定者の住み替え前の居住状況、市営住宅入居後の居住状況、市営住宅申し込みの理由、今後の意向等を把握し、住宅基本計画の見直しに係る基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査対象

市営住宅入居予定者（平成21年11月開催の入居説明会参加者）

(2) 配布数

179票

(3) 調査方法

直接配布・即時回収（1票のみ後日回収）

(4) 調査期間

平成21年11月24日～平成21年11月25日

(6) 調査内容

問1 入居者の現在の家族構成や収入、住まいについて

- ・ 入居予定者の年齢・家族構成・同居家族人数・年収等について
- ・ 現在の住まいの間取り・広さ等について

問2 入居予定の住宅と申し込み理由等について

- ・ 入居予定の住宅の間取り、家賃について
- ・ 申し込み理由について
- ・ 将来の住まいに関する意向について
- ・ 市営住宅に関する自由意見

(7) 回収結果

即時回収が124票、後日回収が1票の合計125票の回収（回収率69.8%）

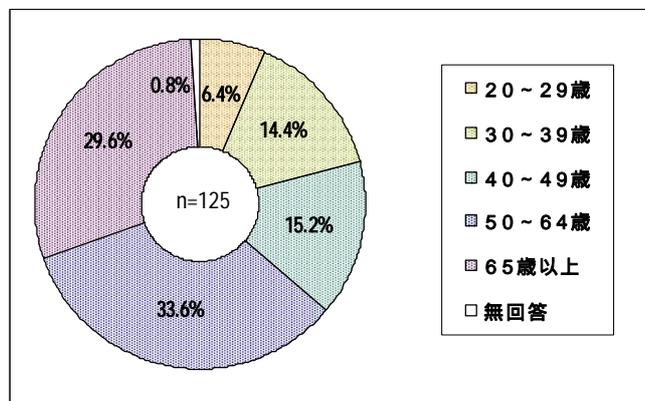
3. 集計結果

【1】単純集計

問1 回答者の家族や現在の住まいについて

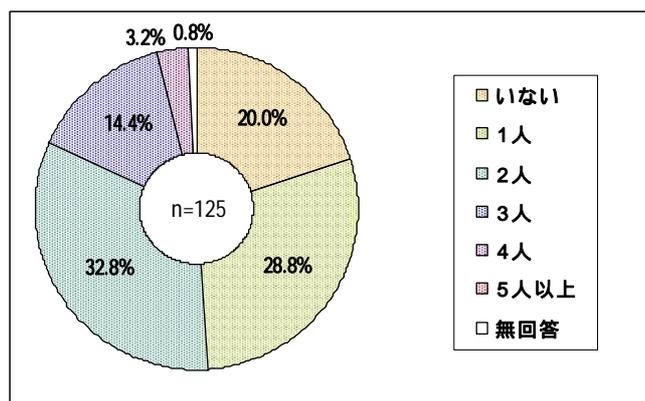
(1) 申し込み者の年齢

「50～64歳」が33.6%と最も多く、次に「65歳以上」が29.6%となっており、申し込み者の6割以上が50歳以上となっている。



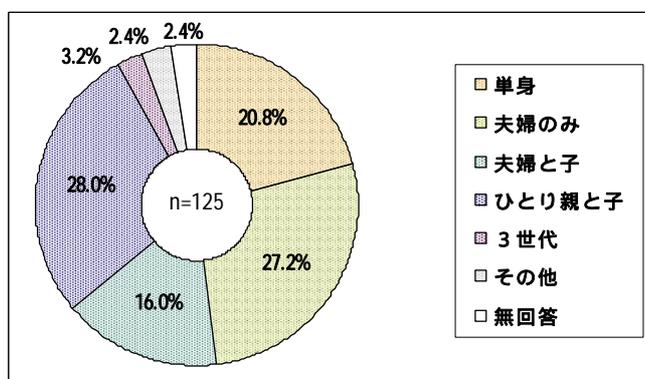
(2) 入居予定の同居家族

同居家族が「2人」が32.8%と最も多く、次に「1人」が28.8%、「いない」が20.0%となっている。



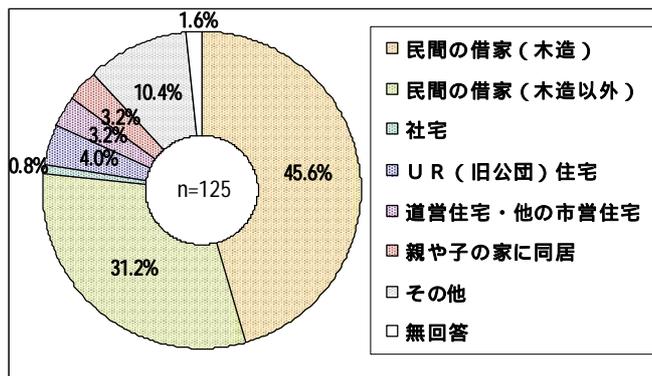
(3) 入居予定の世帯構成

「ひとり親と子」28.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が27.2%、「単身」が20.8%となっている。



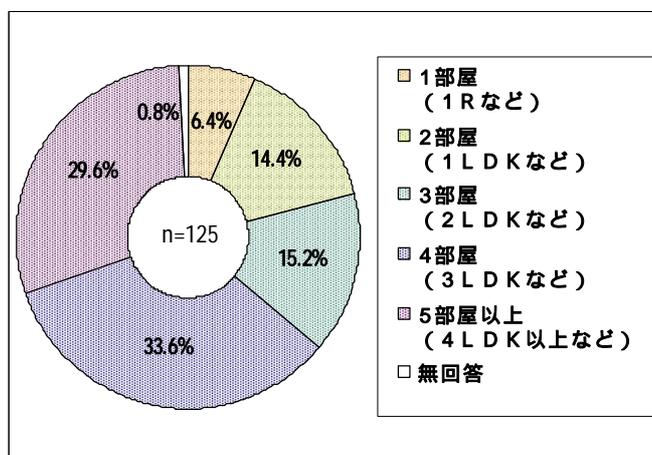
(4) 現在の住まいの種類

「民間の借家(木造)」が45.6%と最も多く、次に「民間の借家(木造以外)」が31.2%となっており、「民間の借家」が7割以上となっている。



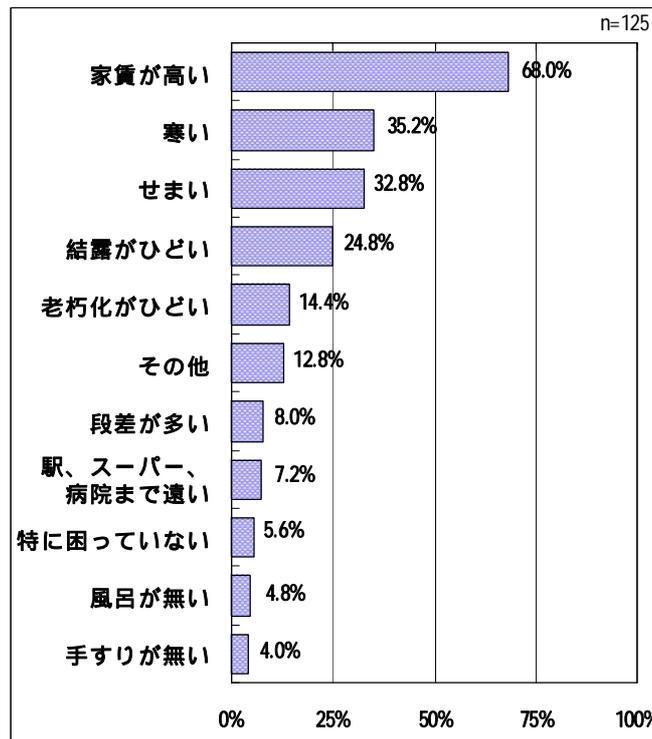
(5) 現在の住まいの間取り

「3部屋(2LDKなど)」が最も多く53.6%、次いで「2部屋(1LDKなど)」が16.8%、「4部屋(3LDKなど)」が15.2%となっている。



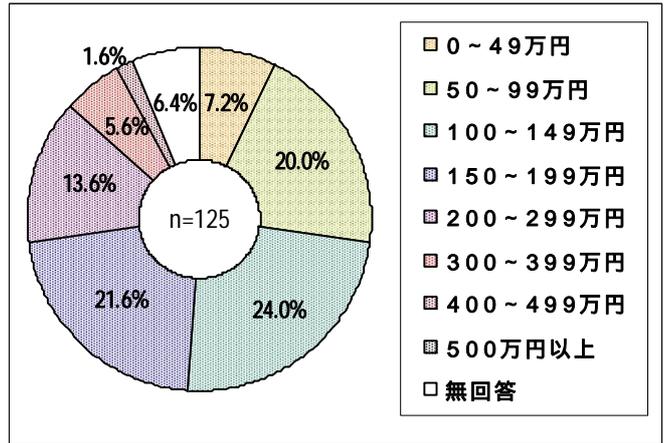
(6) 現在の住まいで困っていること(複数回答 3つまで)

「家賃が高い」の回答が68.0%と最も多く、次いで「寒い」が35.2%、「狭い」が32.8%、「結露がひどい」が24.8%となっており、住宅の性能や広さに関する回答が多い。



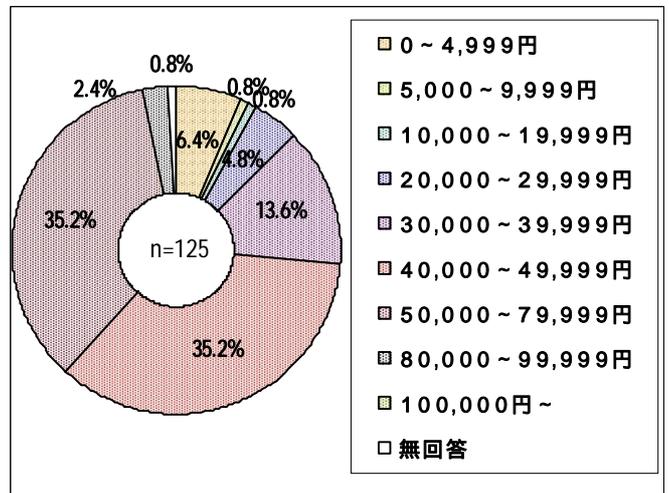
(7) 世帯の年間総収入 (税込み、年金収入含む)

「100～149万円」が24.0%と最も多く、次いで「150～199万円」が21.6%、「50～99万円」が20.0%となっており、200万円未満が全体の約7割となっている。



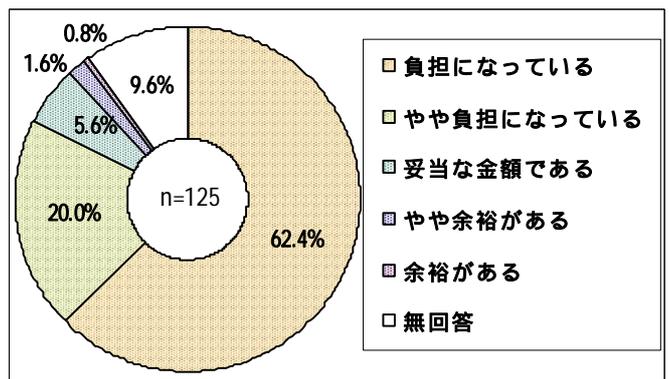
(8) 現在の住まいの家賃 (月額)

「40,000～49,999円」と「50,000～79,999円」が35.2%と最も多く、次いで「30,000～39,999円」が13.6%となっており、4万円以上が全体の約7割となっている。



(9) 現在の住まいの家賃の負担感

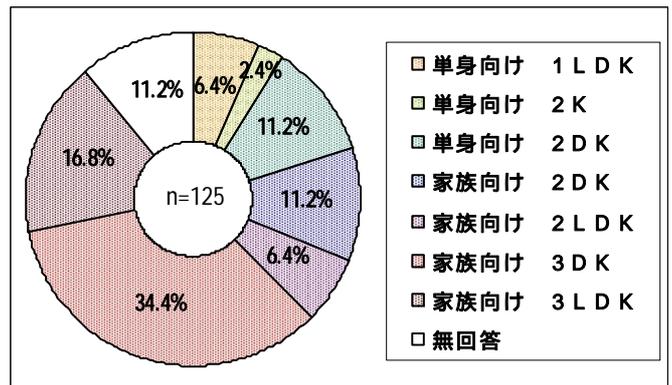
「負担になっている」が62.4%と最も多く、次いで「やや負担になっている」が20.0%となっており、負担に感じている世帯が8割以上となっている。



問2 今回入居予定の市営住宅や申し込みの理由について

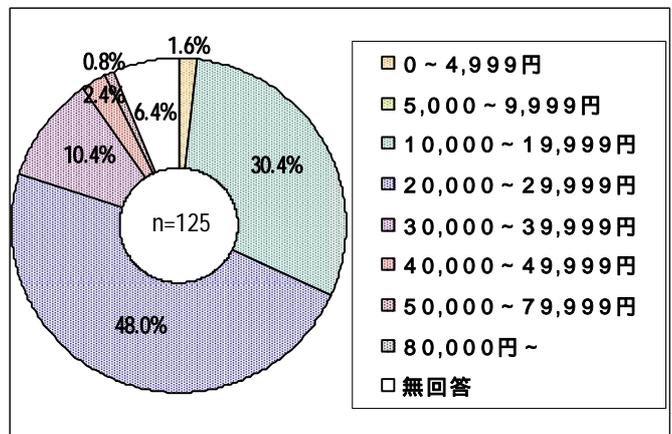
(1) 入居予定の間取り

「3DK(家族向け)」が34.4%と最も多く、次いで「3LDK(家族向け)」が16.8%、「2DK(単身向け、家族向けともに)」が11.2%となっている。



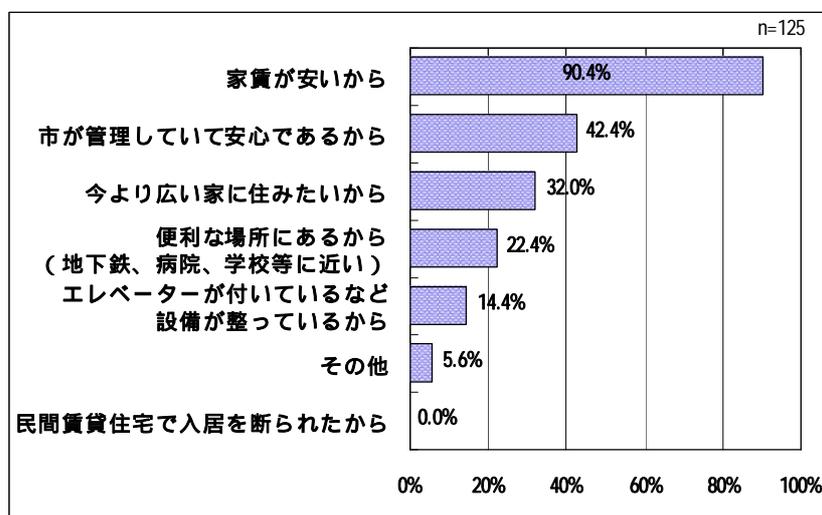
(2) 入居予定の部屋の家賃

「20,000～29,999円」が48.0%と最も多く、次いで「10,000～19,999円」が30.4%、「30,000～39,999円」が10.4%となっており、3万円未満が8割となっている。



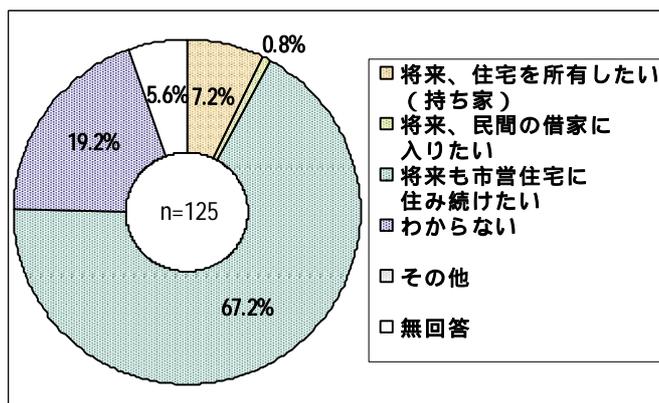
(3) 市営住宅に申し込んだ理由(複数回答 3つまで)

「家賃が安いから」が90.4%と最も多く、次いで「市が管理していて安心であるから」が42.4%、「今より広い家に住みたいから」が32.0%と続いており、「民間賃貸住宅で入居を断られたから」という回答は0%である。



(4) 将来的の意向

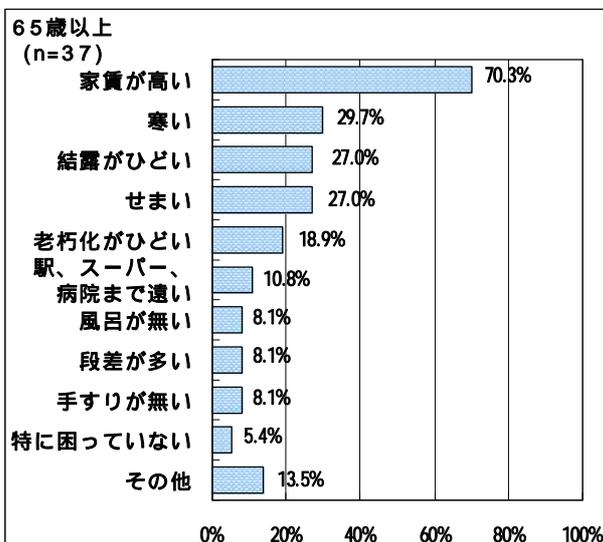
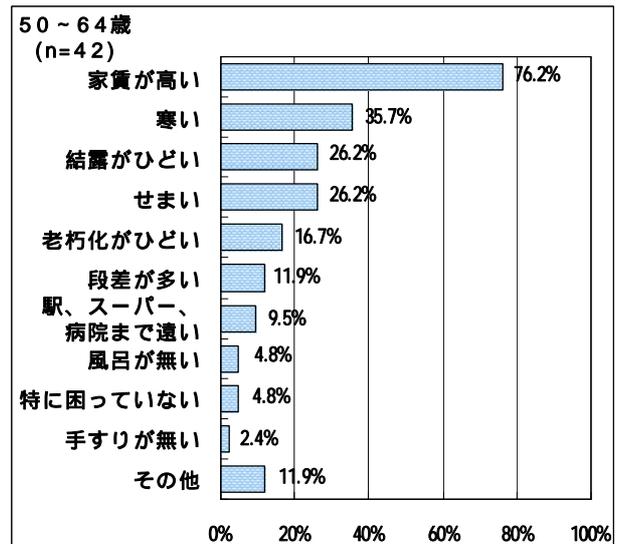
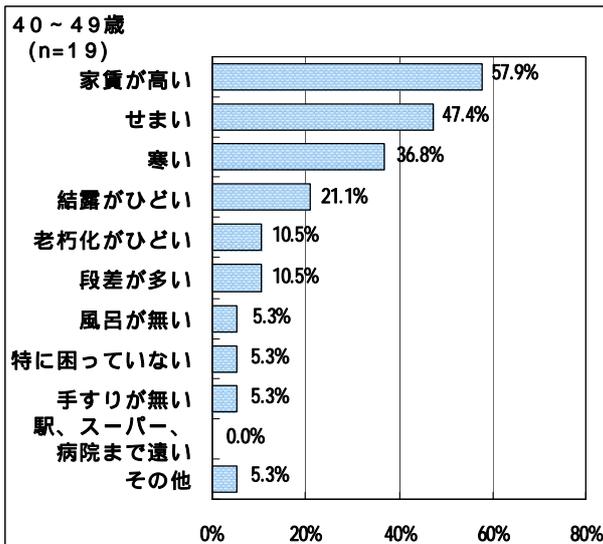
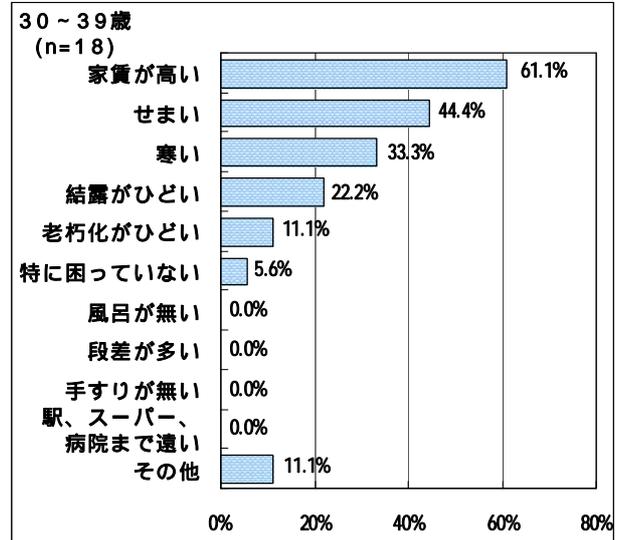
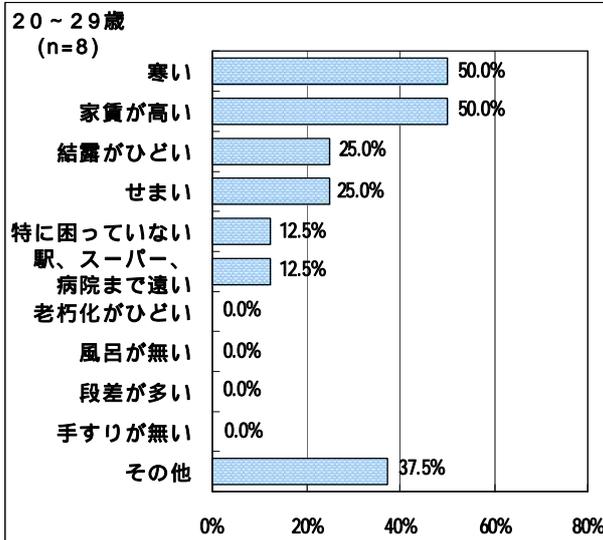
「将来も市営住宅に住み続けたい」が67.2%と最も多く、次いで「わからない」が19.2%となっており、「将来住宅を所有したい」、「将来民間の借家に入りたい」という回答は8%である。



【2】クロス集計

(1) 現在の住まいで困っていること(年齢別)

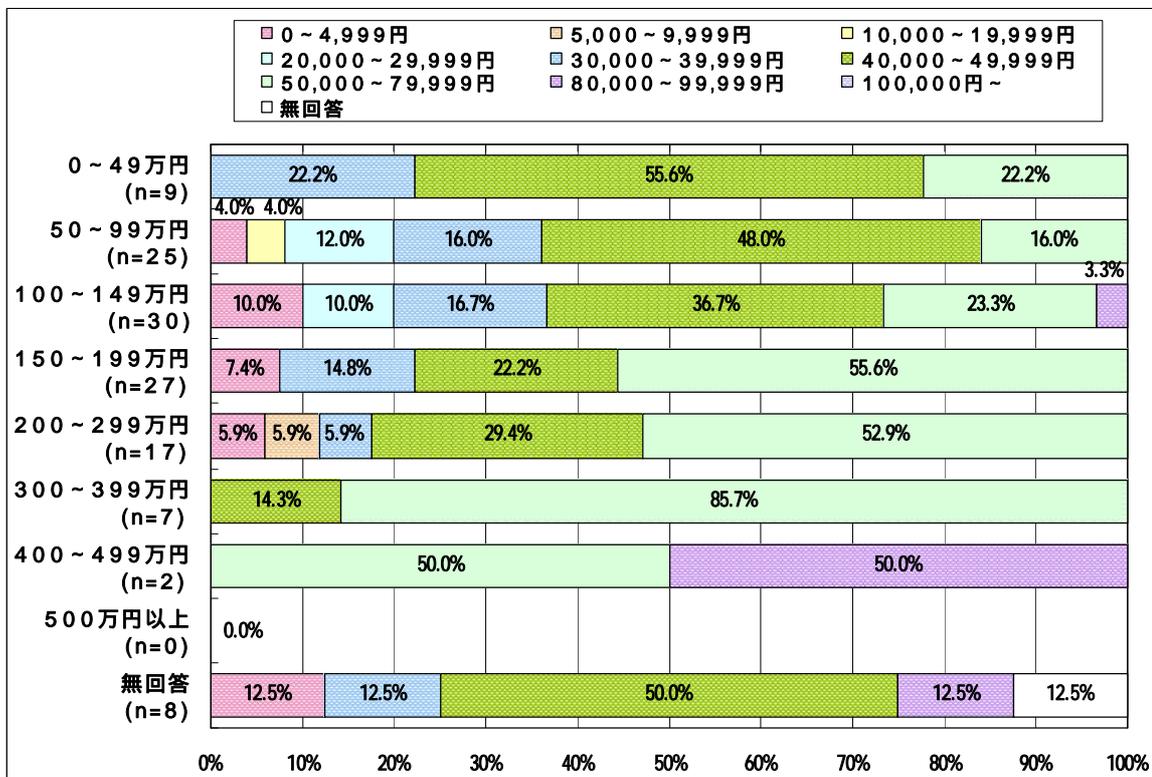
どの年齢層も「家賃が高い」が50%以上と最も高い割合を示しているが、30～49歳では「せまい」が40～50%と他の年齢層に比べて高い割合となっている。



(2) 現在の住まいの家賃(月額)(世帯の収入別)

収入が150万円未満の世帯では、「40,000～49,999円」が4割～5割と最も多いが、「50,000～79,999円」も2割程度いる。

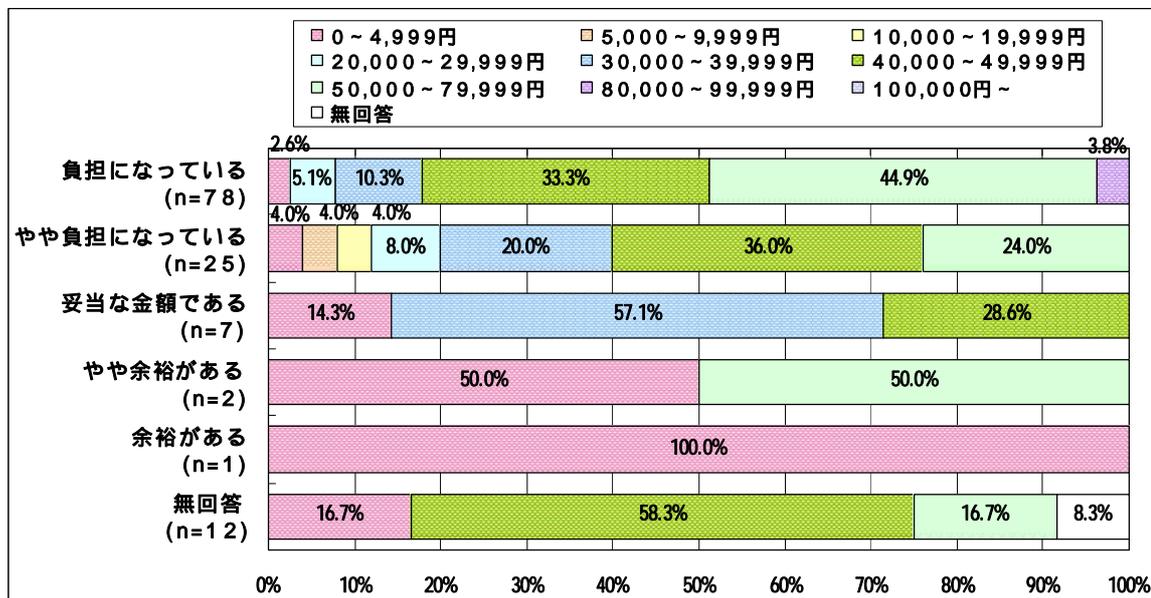
収入が150万円以上300万円未満の世帯では、「50,000～79,999円」が約半数となっており、300万円以上の世帯では、全員4万円以上の住宅に住んでいる。



(3) 現在の住まいの家賃(月額)(家賃の負担感別)

家賃が「負担になっている」世帯の8割以上と「やや負担になっている」世帯の6割が4万円以上の家賃を負担している。

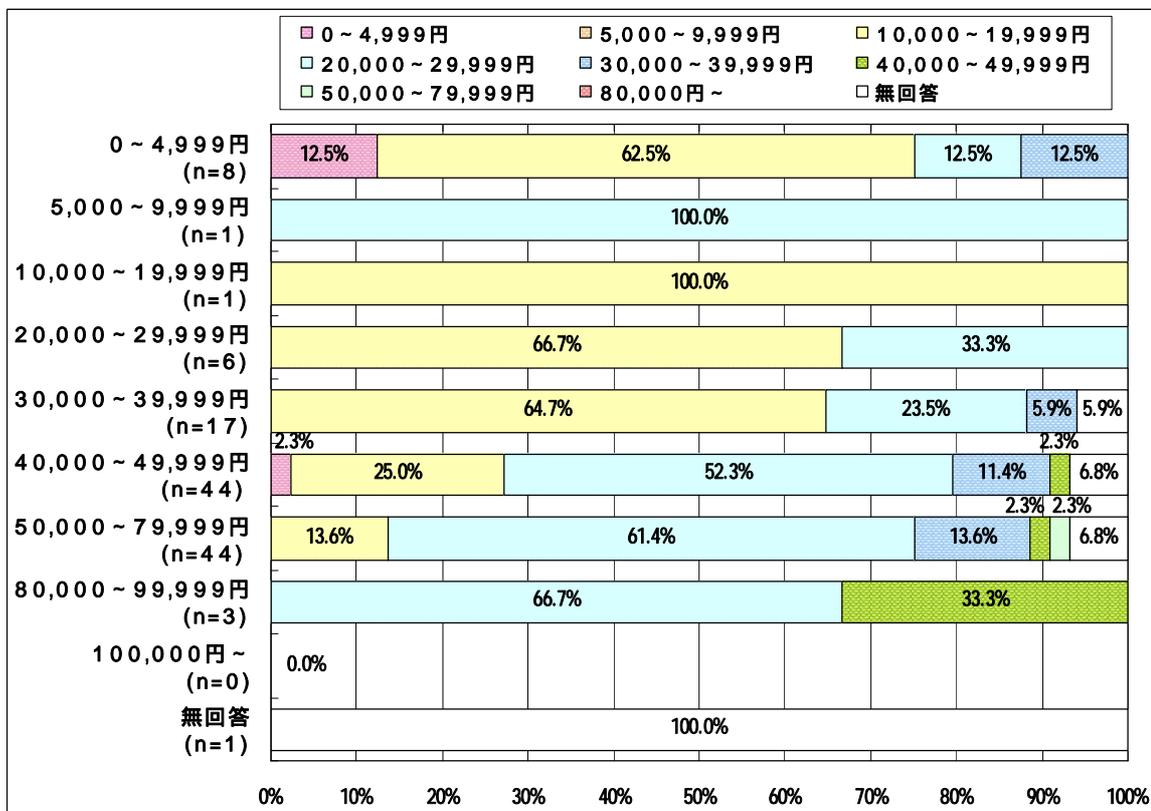
また、多くの世帯が家賃を負担と感じているが、「妥当な金額」、「やや余裕がある」世帯の中には、4万円以上の家賃を負担している世帯もある。



(4) 入居予定の部屋の家賃（現在の家賃別）

現在の家賃が「1万円未満」の世帯の多くは家賃が上がり、「1万円以上2万円未満」では家賃は同程度となっている。

現在の家賃が「2万円以上」の世帯については、ほとんどの世帯で家賃が下がっている。

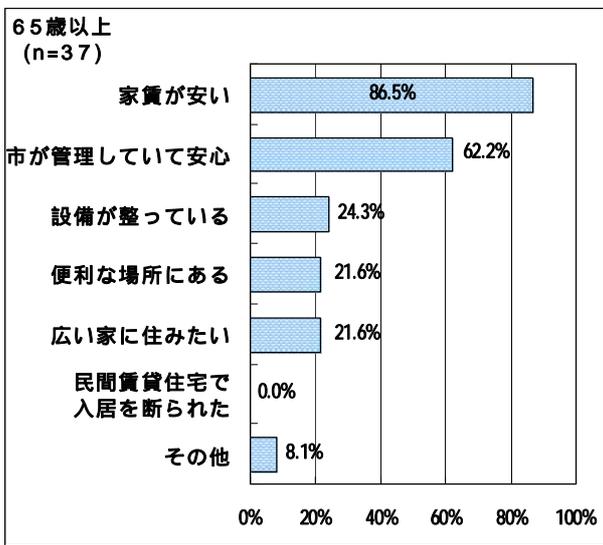
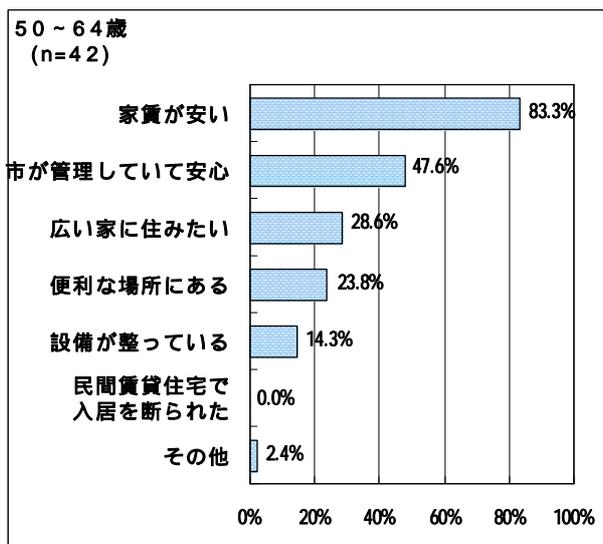
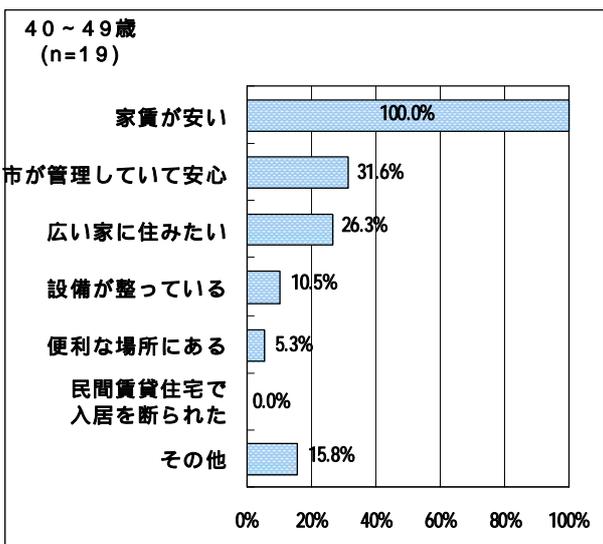
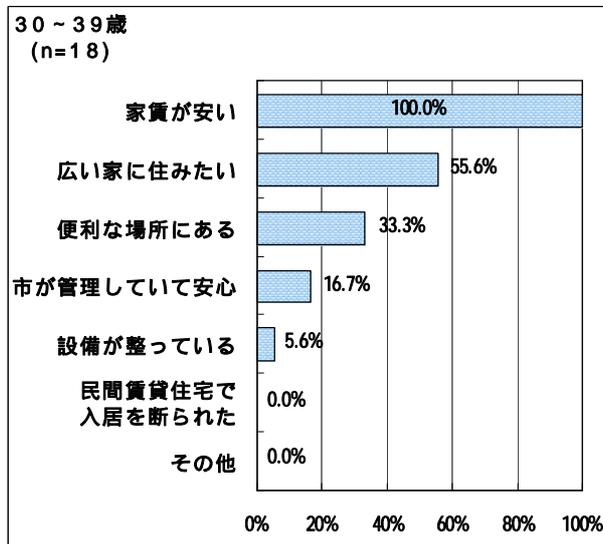
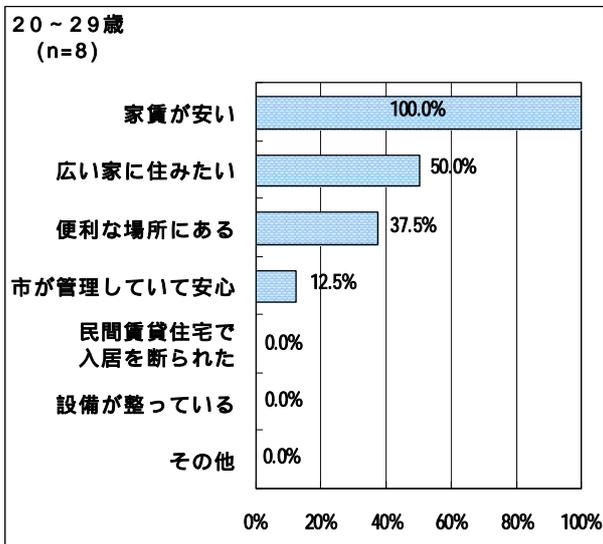


(5) 市営住宅に申し込んだ理由(年齢別)

いずれの年齢層でも「家賃が安い」という理由が8割以上と最も高い割合を示している。

「市が管理していて安心」という理由は、年齢が高くなるにつれて高い割合を示す傾向にあり、50歳以上で5~6割となっている。

また、「広い家に住みたい」という理由は、40歳未満で5~6割となっている。



(6) 将来的の意向(年齢別)

「20～29歳」では「わからない」が62.5%と最も高い割合となっており、住宅の所有や民間の借家に入りたい意向もみられる。

また、「30～39歳」では、約6割が「市営住宅に住み続けたい」意向となっているが、「住宅を所有したい」意向も約3割みられる。

40歳以上の世帯では、6割以上が「市営住宅に住み続けたい」意向となっており、特に、65歳以上では約9割と高い割合を示している。

